



ACCESS MAP



-  **仙石線** 「JR仙台駅」から石巻方面下り電車に乗車(約16分)し、「陸前高砂駅」にて下車、徒歩約7分
-  **宮城交通バス** 「仙台港フェリーターミナル行(アウトレット、夢メッセみやぎ経由)」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分
-  **仙台市営バス** 「高砂市営住宅西行」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分
「蒲生(中野新町)行」に乗車し、「東北医科薬科大学病院入口」にて下車、徒歩約3分
-  **車** 仙台東部道路「仙台港IC」より約5分

東北医科薬科大学病院の専門研修プログラム

—専攻医 募集案内—

Being the Pioneer of
the Medical Front
for TOHOKU

お問い合わせ

東北医科薬科大学病院
卒後研修支援センター

TEL:022-259-1221(内線1478)

E-mail:kenshu-shien@tohoku-mpu.ac.jp

<https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident/>

2023.10

当院の専門研修について

東北医科薬科大学病院では、東北医科薬科大学若林病院、
医学部地域医療教育サテライトセンターと連携し、人的ネットワークの構築や
学生、研修医教育に取り組んでいます。

質の高い専門医の育成には、最新の機器や技術を駆使した

より高度な診療経験から、地域医療における診療経験まで、幅広い研修が必須です。

当院では、common diseaseから専門疾患まで偏らない豊富な症例を経験でき、連携施設も多様です。

当院の専門研修プログラムを通して、全人的な診療ができる

知識・態度・技能を備えた専門医を育成します。

オープンな研修環境

教育熱心な
専門医が直接指導

アカデミックな指導

2.5次ER型救急

地域に密着した
大学病院

地域医療ネットワーク

個人のキャリアプランを
サポート



内科専攻医
(ホスト科:消化器内科)

大沼 創

Sou Unuma

岩手医科大学卒

私は、初期研修医として当院へ入職し、2年間の初期研修の後、引き続き当院にて内科専門プログラムで研修を行っています。当院を選択した最大の理由は、内科・外科問わず全ての診療科が揃っており、様々な症例を経験できるためです。また、初期研修の際に各科の医師やコメディカルスタッフと関わり、顔見知りのスタッフも増えました。そのため、困ったことがあればすぐに相談できる点も心強くと感じます。

私が所属している消化器内科では、上下部内視鏡検査はもちろんのこと、EMR、ESD、EUS、ERCP等の様々な手技を経験でき、症例数も豊富です。2022年現在は、医局員17名と専攻医5名の計22名(若林病院含)で、科内の雰囲気はとても明るいです。楽しく充実した毎日を過ごしながら、専門医取得に向けて日々知識を深め診療にあたっています。

とても働きやすい環境ですので、ぜひ一度見学にいらしてください。お待ちしております。

精神科専攻医

毛塚 大 Dai Kezuka 金沢大学卒、東北大学大学院修了

当科専攻医プログラムの特徴の一つは「発展途上」であることです。2022年4月に私を含む3名が当科初の専攻医として入局し、先例が存在しない中で「自分たち自身でプログラムを作り上げていく」という貴重な体験をしています。

私自身は初期研修ののち、基礎系の大学院をへて入局しました。現在は臨床業務のかたわら学内外に申請書を提出し、責任者の一人として実験を立ち上げています。このような自由が許されるのも「発展途上」が故でしょうか。

また「大学病院と市中病院の間」という匾い文句は当科にも当てはまり、統合失調症や気分障害などの一般的な疾患から、依存症、児童思春期、症状性精神病などの専門性の高い疾患まで精神科のほとんどの症例を経験できます。診療科間の垣根も低く、コメディカルの方々も親しみやすい方ばかりで、職場環境としても望ましく感じています。

新しい環境で一緒に当科を「発展」させてくれる先生のご来訪をお待ちしております。

専攻医メッセージ

泌尿器科専攻医

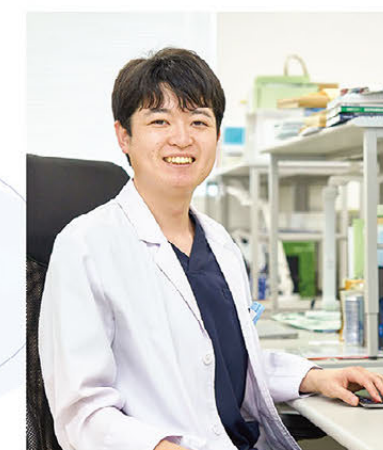
岩本 直生 nao iwamoto 山形大学卒

私は初期研修医として当院に入職し、3年目から当院泌尿器科専攻プログラムで研修を行っています。泌尿器科は腎、副腎、尿管、前立腺、陰茎、陰嚢など扱う臓器が多彩です。

手術はTURBTやTUL、陰嚢手術を執刀し、また、腎摘除術、前立腺摘除術などは助手として手術に参加しています。手技に関しては外来での軟性膀胱鏡検査からはじめ尿管ステント挿入術、前立腺生検、腎瘻造設など多くの手技を経験しています。

夜間・休日当番としての独り立ちも早く、救急からの問い合わせがあった場合は、日常診療での経験を元にして緊急処置を行う場合もあります。多くの症例や手技、手術を経験できると同時に自身で決定し、対応する力が問われ責任とやりがいを感じています。

医師が少人数の科であり、多くの手技や手術を経験したい研修医の先生におすすめです。



総合診療専攻医

勝田 義久

Yoshihisa Katsuta

東北大学卒

私は当院での初期研修を終え、そのまま当院での総合診療専門研修プログラムを開始しました。東北地方を支える総合診療医の育成のため設立されたこの大学の理念に共感したことが当院を選択した理由です。地域医療のマインドを持った指導医や学生に囲まれながら、日々精進しております。連携施設として石巻市での在宅診療や一般外来の研修も並行して行っております。

当院は総合診療科だけでなく各診療科が揃っている上、市中病院と大学病院の両方の側面を持つためにコモンな疾患からレアな疾患まで経験でき、研修の場としては最適であると感じています。どの科の専攻医にもおすすめできる病院です。

労働環境としても理想的であり、上司やスタッフとの人間関係に悩むこともなく、残業も多くないため体力に自信がない私でもゆとりをもって働いております。

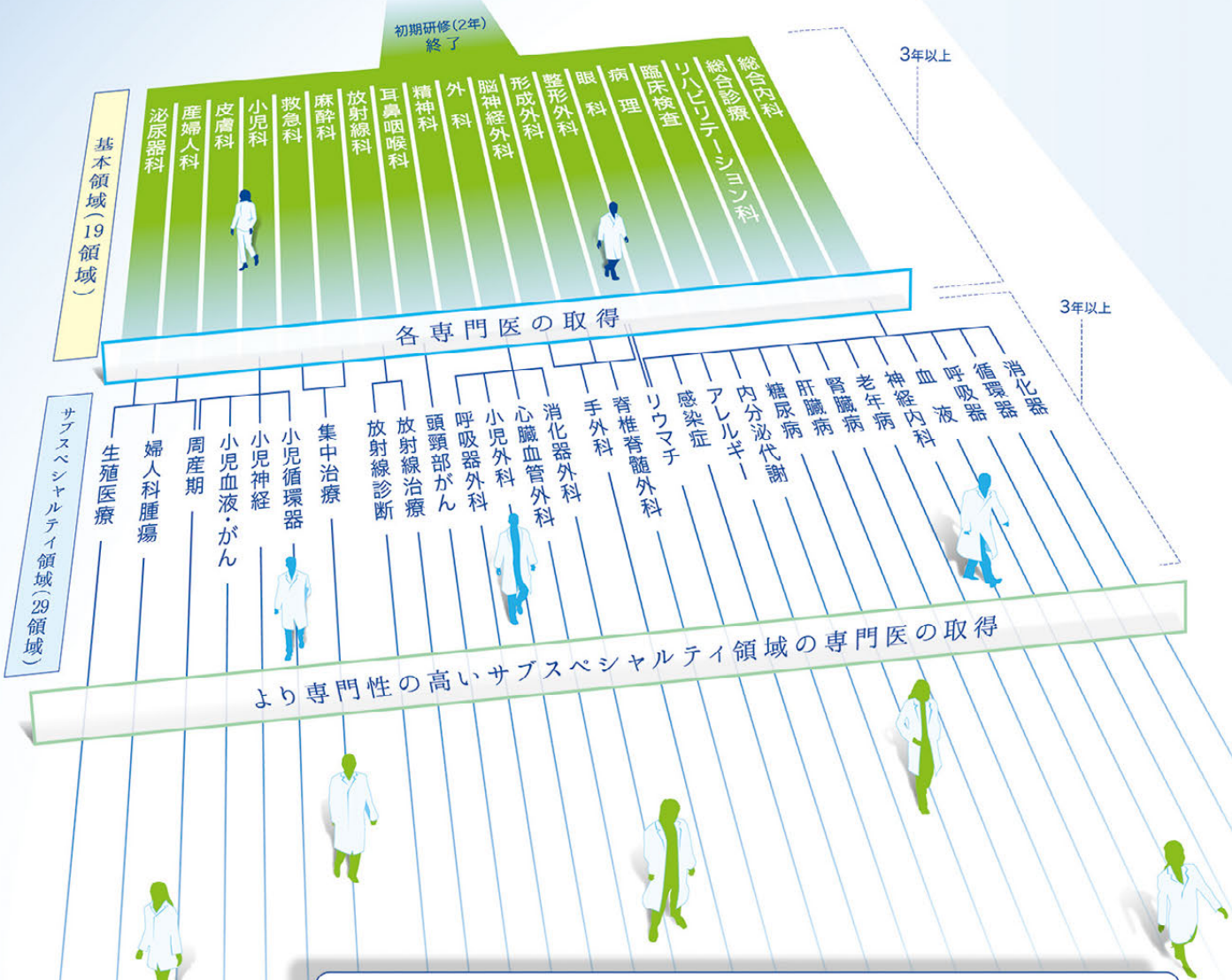
当院で共に研修する仲間が増えることを期待しています。

新専門医制度について

基本領域とサブスペシャリティ領域

これまでの専門医制度は、各学会が独自に運営しており、認定基準が統一されておらず、「専門」の質にばらつきがあることなど問題点が指摘されてきました。新専門医制度では、様々な領域における専門医の質を標準化するために、第三者機関である「日本専門医機構」が専門医の認定と養成プログラムの評価・認定を統一的行います。

新専門医制度では、「基本領域」、「サブスペシャリティ領域」の2段階制とし、初期研修を修了した医師は、3年以上の研修で**基本19領域**いずれかの**専門医資格**を取得し、その後、更なる専門性(サブスペシャリティ)を身につけます。

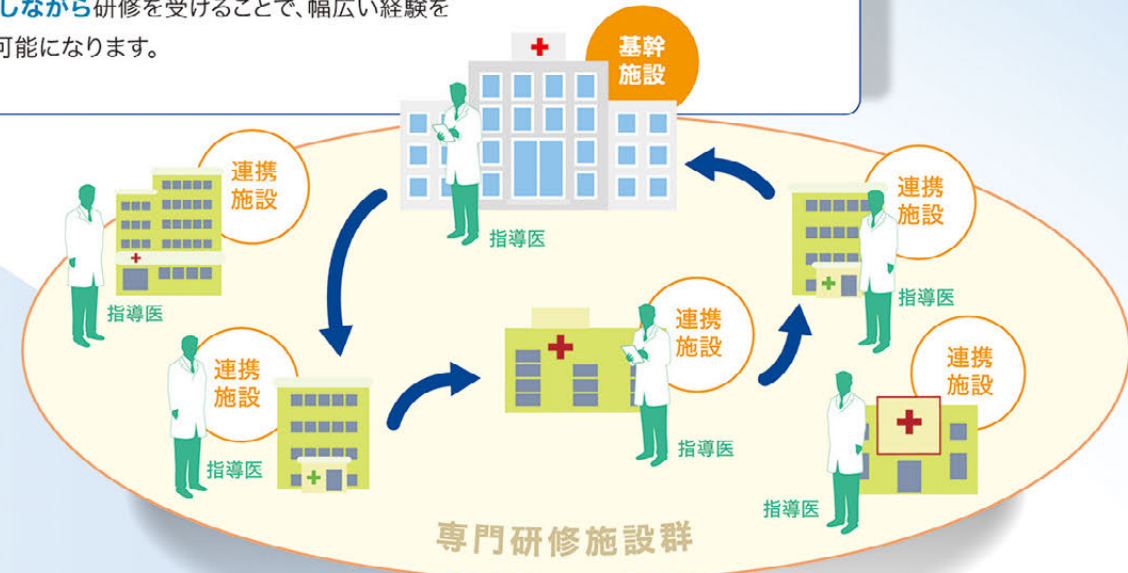


新制度の対象者

対象となるのは、原則として、2017年度以降(2018年3月以降)に初期研修を修了した医師です。2017年度以降に臨床研修を修了した医師が旧制度で専門研修を行っても、専門医の取得はできません。2016年度以前に初期研修を修了し、かつ専門研修を開始していない医師は、領域により新制度での研修が可能です。

基幹施設と連携施設

専門研修は、病院単体ではなく、大学病院等の**基幹施設**と地域の協力病院・診療所等が**連携施設**として専門研修施設群を構成して実施します。専攻医は、志望する基本領域のプログラムがある**基幹施設**に所属し、**専門研修施設群をローテートしながら**研修を受けることで、幅広い経験を積むことが可能になります。



研修スケジュール

ローテートする連携施設や時期等については、本人の希望を基に調整します。

研修スケジュールと週間スケジュールの例 (総合診療専門研修の場合)

	(卒後2年目)	1年目(卒後3年目)	2年目(卒後4年目)	3年目(卒後5年目)	
初期研修	基幹施設(当院) 小児科 → 救急科 → 内科	連携施設 総合診療 専門研修Ⅱ	連携施設 総合診療 専門研修Ⅱ	連携施設 総合診療 専門研修Ⅰ	●専門医の取得 ●サブスペシャリティ研修
朝	●カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス
午前	●病棟業務 ●初診外来	●病棟業務	●病棟業務	●病棟業務 ●初診外来	●病棟業務
午後	●病棟業務 ●再診外来	●病棟業務	●病棟業務 ●再診外来	●病棟業務	●病棟業務 ●再診外来
夕方	●カンファレンス	●カンファレンス	●症例カンファレンス	●カンファレンス	●カンファレンス

プログラム紹介

	基幹施設	内科、外科、小児科、精神科、麻酔科、臨床検査、形成外科、総合診療、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、救急科
	基幹施設申請中	産婦人科
	連携施設として参加	産婦人科、眼科、放射線科、病理、リハビリテーション科、脳神経外科

東北医科薬科大学病院 内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
佐藤 賢一（消化器内科）

募集定員 35名 研修期間 3年

当院には10の内科系診療科があり、専攻医3年修了時で「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を経験し、J-OSLERに登録できる体制としています。可能な限り70疾患群、200症例以上の経験を目標とします。当院と県内外の連携施設をローテートすることで、希少な症例からコモンな疾患まで診療経験を積むことが可能です。

内科領域を幅広く修練する基本コース、将来の専門を見据えたsubspeciality重点コース、地域に重点を置いた地域医療コースの3コースがあり、様々な活動の場や求められる役割に合わせて、総合診療能力を備えた内科専門医を育成します。



連携施設

●東北医科薬科大学 若林病院 ●JCHO仙台病院 ●石巻市立病院 ●石巻赤十字病院 ●大崎市民病院 ●栗原市立栗原中央病院
●気仙沼市立病院 ●広南病院 ●公立刈田総合病院 ●蔵王町国民健康保険蔵王病院 ●仙台医療センター ●仙台オープン病院
●仙台市立病院 ●仙台赤十字病院 ●仙台徳洲会病院 ●総合南東北病院 ●東北大学病院 ●東北労災病院
●登米市立登米市民病院 ●丸森町国民健康保険丸森病院 ●南三陸病院 ●みやぎ県南中核病院 ●宮城厚生協会泉病院
●宮城厚生協会坂総合病院 ●涌谷町国民健康保険病院 ●常広第一病院 ●平鹿総合病院 ●岩手県立胆沢病院
●岩手県立中央病院 ●山形市立病院済生館 ●会津医療センター ●いわき市医療センター ●公立藤田総合病院 ●白河厚生総合病院
●獨協医科大学病院 ●東京都健康長寿医療センター ●聖マリアンナ医科大学病院 ●大阪公立大学医学部附属病院
●育和会記念病院 ●石切生喜病院 ●和泉市立総合医療センター ●大阪市立十三市民病院 ●大阪市立総合医療センター
●東住吉森本病院 ●府中病院 ●ペルランド総合病院 ●淀川キリスト教病院 ●石巻市立牡鹿病院 ●女川町地域医療センター
●栗原市立若柳病院 ●公立加美病院 ●公立黒川病院 ●国民健康保険川崎病院 ●塩竈市立病院 ●登米市立豊里病院
●登米市立米谷病院 ●美里町立南郷病院 ●中頃別町国民健康保険病院

東北医科薬科大学 外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
片寄 友（肝胆膵外科）

募集定員 13名 研修期間 3年

当院は、消化器外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科を有し、サブスペシャリティ領域・外科関連領域の専門医取得までシームレスな指導が可能です。低～高難易度まで豊富な手術バリエーションがあり、充実した教育体制の下、若手医師に積極的に執刀させています。

基幹施設である当院と東北地方の22の連携施設が研修施設群を構成し、専攻医の希望に考慮した幅広い外科研修を行うことができるプログラムです。



連携施設

●登米市立登米市民病院 ●栗原市立栗原中央病院 ●南三陸病院 ●石巻市立病院 ●塩竈市立病院 ●宮城厚生協会坂総合病院
●赤石病院 ●東北労災病院 ●東北大学病院 ●宮城県立こども病院 ●仙台赤十字病院 ●地域医療機能推進機構仙台南病院
●みやぎ県南中核病院 ●総合南東北病院 ●仙台オープン病院 ●仙台徳洲会病院 ●青森県立中央病院 ●八戸市立市民病院
●JA秋田厚生連平鹿総合病院 ●JA秋田厚生連大曲厚生医療センター ●公立置賜総合病院 ●白河厚生総合病院
●いわき市医療センター ●常広第一病院 ●岩手県立中央病院 ●自治医科大学附属さいたま医療センター

東北医科薬科大学 小児科専門医プログラム

<プログラム統括責任者>
森本 哲司

募集定員 2名 研修期間 3年



当院小児科は、感染症などの一般的な小児疾患や予防接種、健診もっており、大学病院でありながらプライマリケアに必要な知識・技能を確実に修得できます。さらに、それぞれの院内指導医の専門分野（腎、神経・発達、新生児、免疫・アレルギー、遺伝・先天性疾患）では、指導医が手技から治療方針まできめ細かく指導します。また、連携施設での院外研修でその他の専門分野（内分泌・糖尿病、消化器、NICU、血液など）について専門医より指導を受けることが可能です。

本プログラムでは宮城県内の第一線の小児病院を中心に研修施設群を構成し、病院の役割や特性に応じて、専門医に必要な全ての分野を経験できます。

連携施設

●宮城県立こども病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●仙台赤十字病院 ●JR仙台病院 ●みやぎ県南中核病院
●石巻赤十字病院 ●大崎市民病院 ●気仙沼市立病院 ●坂総合病院 ●岩手県立中央病院 ●鶴岡市立荘内病院

東北医科薬科大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>
鈴木 映二

募集定員 3名 研修期間 3年



当院の精神科は、46床の閉鎖病棟を持つ総合病院精神科であり、うつ病、統合失調症、認知症などの基本的な疾患のほかに、小児、緩和医療、リエゾン精神医学領域にも力を入れています。

仙台市内の精神科単科病院の他、県内外14の連携施設の中には、「医療観察法指定入院施設」や、精神科救急医療が学べる施設などがあり、専攻医の希望によってローテート先を決定しています。

連携施設

●国立病院機構花巻病院 ●国立病院機構仙台医療センター ●一般財団法人東北精神保健福祉会青葉病院
●社会医療法人あさかホスピタル ●医療法人社団愛陽会三川病院 ●医療法人博文会いわき開成病院 ●医療法人慧真会協和病院
●医療法人菅野愛生会こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ ●医療法人菅野愛生会緑ヶ丘病院 ●社会医療法人公徳会佐藤病院
●社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院 ●宮城県立精神医療センター ●医療法人松涛会南浜中央病院 ●東京医科大学 精神科

東北医科薬科大学病院 麻酔科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>
長屋 慶

募集定員 4名 研修期間 4年



周術期の生体管理を中心に、救急医療や集中治療における生体管理、疼痛・緩和医療などの領域において、安全で質の高い医療を提供できる麻酔科専門医を育成します。

当院には集中治療、ペインクリニック、心臓血管麻酔の専門医が在籍し、麻酔科医としてより総合的な対応能力が高められる環境下で個人の習熟度に応じて柔軟に指導します。とりわけ当院は、心臓血管外科手術、呼吸器外科手術症例が豊富で、心臓麻酔、経食道心エコー、気管支鏡などの十分な経験を積むことができます。

連携施設

●独立行政法人国立病院機構仙台医療センター ●医療法人徳洲会仙台東洲会病院 ●福島県立医科大学附属病院
●いわき市医療センター

東北医科薬科大学 臨床検査専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
高橋 伸一郎（検査部）

募集定員 2名 研修期間 3年



臨床検査全般において、その品質の向上と維持に努め、適切で信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献できる臨床検査専門医を育成します。当院では、検査専門医（1名）による指導のみならず、地域における様々な疾患、病態と検査との関連が学べます。基本領域専門医をすでに取得済みの場合は、カリキュラム制の研修も選択できますので、他領域の専門医の方も歓迎です。様々な臨床・基礎系教室の接点となる、検査部という環境を活かした研究活動も活発に行っておりますので、希望により学位取得を目指すことも可能です。

連携施設

●東北大学病院

募集定員 1名 研修期間 4年



●東京大学医学部附属病院

募集定員 10名 研修期間 3年



●石巻市立病院 ●石巻市立牡鹿病院 ●登米市立登米市民病院 ●登米市立米谷病院
 ●涌谷町国民健康保険病院 ●南三陸病院 ●栗原市立栗原中央病院 ●女川町地域医療センター
 ●気仙沼市立病院 ●公立黒川病院 他

募集定員 6名 研修期間 3年9か月

●宮城県立こども病院 ●宮城県立がんセンター ●JCHO仙台病院 ●北海道整形外科記念病院 ●仙台市立病院
●栗原市立栗原中央病院 ●登米市立登米市民病院 ●石巻市立病院 ●南風病院

募集定員 **4名** 研修期間 **4年**

●青森県立中央病院 ●八戸市民病院 ●岩手県立中央病院 ●岩手県立大船渡病院 ●JA秋田厚生連大曲厚生医療センター
●JA秋田厚生連平鹿総合病院 ●山形市立病院済生館 ●公立置賜総合病院 ●気仙沼市立病院 ●大崎市民病院 ●石巻赤十字病院
●東北労災病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●みやぎ県南中核病院 ●いわき市医療センター ●白河厚生病院

募集定員 **3名** 研修期間 **4年**

A close-up photograph of a human ear, showing the outer ear (pinna) and the ear canal. The ear is positioned on the side of a head with dark hair. The image is cropped to focus on the ear itself.

●東北大学病院 ●杏林大学付属病院 ●東京女子医科大学病院 ●宮城県立がんセンター ●仙台医療センター
●仙台市立病院 ●東北労災病院 ●いわき市医療センター ●大崎市民病院

募集定員 **2名** 研修期間 **5年**

●東北医科薬科大学 若林病院 ●南相馬市立総合病院 ●東北大学病院 ●東北医科薬科大学血液膠原病内科

募集定員 **3名** 研修期間 **3年**

●東北大学病院 ●仙台市立病院 ●仙台医療センター ●大崎市民病院 ●石巻赤十字病院 ●みやぎ県南中核病院
●東北ろうさい病院 ●仙台オープン病院 ●石巻市立病院 ●気仙沼市立病院 ●東京都立多摩総合医療センター

募集定員 **6名** 研修期間 **3年**

A pregnant woman is shown from the waist up, wearing a white long-sleeved shirt and blue pants. She is holding her belly with both hands. The background is a solid blue color.

●石巻赤十字病院 ●気仙沼市立病院 ●スズキ記念病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●東北医薬科大学若林病院
●東北大学病院 ●みやぎ県南中核病院 ●宮城県立こども病院 ●いわぎ市医療センター ●太田西ノ内病院
●秋田大学医学部 附属病院 ●日本海総合病院 ●盛岡赤十字病院

専攻医の週間スケジュール

月
火
水
木
金
土
日

消化器内科 高橋 良平先生		腎臓内分泌内科 佐藤 花央梨先生	脳神経内科 赤尾 剛先生
朝	朝カンファ、回診。終了後9:00までフリー	前日のカルテ確認	脳神経外科合同カンファレンス
午前	大腸カメラ(or再診)	朝カンファ(透析患者、新入院等) 朝回診、カルテ記載、手術	病棟業務
午後	グループごとに治療(ERCPやESD、EMR、TACEなど)	抄読会、カルテ確認、夕回診	病棟業務
夕方	ゲーム、テレビ、YouTube、マンガ、ゴルフ練習	外勤	
朝	朝カンファ、回診。終了後9:00までフリー	前日のカルテ確認	脳神経外科合同カンファレンス
午前	胃カメラ	朝カンファ(透析患者、新入院等) 朝回診、カルテ記載、手術、腎生検	新患外来
午後	グループごとに治療(ERCPやESD、EMR、TACEなど)	外勤	総回診
夕方	ゲーム、テレビ、YouTube、マンガ、ゴルフ練習	外勤	
朝	朝カンファ、回診。終了後9:00までフリー	前日のカルテ確認	脳神経外科合同カンファレンス
午前	胃カメラ	朝カンファ(透析患者、新入院等) 朝回診、カルテ記載、腎生検	病棟業務
午後	グループごとに治療(ERCPやESD、EMR、TACEなど)	カルテ確認、夕回診	新患カンファレンス
夕方	科当番	映画鑑賞	
朝	朝カンファ、回診。終了後9:00までフリー	前日のカルテ確認	脳神経外科合同カンファレンス
午前	新患外来	朝カンファ(透析患者、新入院等) 朝回診、カルテ記載	病棟業務
午後	グループごとに治療(ERCPやESD、EMR、TACEなど)	学生(隔週)、カルテ確認、 腎生検カンファ、夕回診	再診外来
夕方	グループ当番	当番	時間外当番
朝	朝カンファ、回診。終了後9:00までフリー	前日のカルテ確認	脳神経外科合同カンファレンス
午前	胃カメラ	朝カンファ(透析患者、新入院等) 朝回診、カルテ記載、手術	病棟業務、救急当番
午後	外勤	外来、カルテ確認、夕回診	救急当番、脳神経内科多職種カンファレンス 脳神経カンファレンス(隔週)
夕方	飲み会	フィットボクシング	
	ゲーム、テレビ、YouTube、 マンガ、ゴルフ練習	家事、カフェ巡り、買い物	
	グループ当番 + 買い物	家事、フィットボクシング、食事会	

院内勉強会

専門医に必要な知識やスキルは非常に幅広く、専攻医にはたゆまぬ研鑽が求められます。当院は、専攻医の成長をサポートするために様々な学修の機会を設けており、院内勉強会の開催や各診療科における各種セミナー、カンファレンス、抄読会等を多数実施しています。

スキルアップセミナー	26回
CPC(臨床病理検討会)	4回
医療安全研修会	2回
保険診療・感染対策・精神科研修会	各2回
医療連携セミナー等	3回
高次脳機能障害支援センター勉強会	2回
虐待対応研修会	1回
緩和ケア研修会	1回

2021年度実績



研修FAQ

専門研修プログラムについて、よくある質問をご紹介します。

Q1 内科研修を受けようと思っていますが、サブスペシャリティをまだ決めていません。

将来の進路については、簡単に決められない人も多いでしょう。当院の内科・外科専門研修プログラムでは、大学病院ならではの充実した診療科を個々のニーズに合わせてローテートすることができます。連携施設も豊富で、県内外の病院・施設でさらに地域に密着した研修をすることも可能です。ローテートの中で幅広く経験を積みながらご自身のキャリアプランを固め、サブスペシャリティ領域までシームレスな研修が行えます。



続きはWebへ！

Q2 同時に複数の基本領域の専門研修を受けることはできますか？

同時に複数の基本領域の専門研修を受けることはできませんが、ある領域の専門医資格を取得した後に、別の基本領域の専門研修を受け専門医資格を取得すること(「ダブルボード」)はできます。ただし新専門医研修はプログラム制なので、別の領域に移る場合は1年目から再スタートすることになります(一部カリキュラム制もあり)。専門医資格取得という観点では、それまでの経験がリセットされ、「遠回り」や「寄り道」に感じられるかもしれません。しかし、医療の世界は奥が深く、別の分野の知識や経験も全て医師としての糧となります。最短で専門医資格を取得することだけが、ご自身のキャリアへの近道ではありません。



Q3 臨床研究に携わることは可能ですか？

アカデミックな分野へ目を向けることは、医師としてのキャリアを発展させるものです。新専門医制度では、学術活動が専門医資格取得の要件の1つとされている領域もあります。当院は、院内に臨床研究支援センターを併設し、臨床研究を支援する体制を強化しています。専攻医は、興味がある分野に関して、セミナーへの参加や国内外の学会にて発表を行い、指導医は論文執筆や学会発表を指導します。当院は、教育・研究機関であるため、レベルの高い指導が受けられます。



Q4 研修修了後の進路は？

専門研修修了後は、欠員の状況にもよりますが、引き続き当院のスタッフとしてご活躍いただくことが可能です。2023年度には、本学大学院も開学しました。もちろん、他の大学や医療機関などへの就職、開業も考えられます。それぞれのキャリアプランを尊重し、当院は全面的なサポートを行います。



About SENDAI

街がコンパクト

仙台駅周辺にPARCOやLOFTなど大型商業施設が建ち並んでいます。衣料品や雑貨、飲食店が充実し、映画館もあります。生活に必要な機能がコンパクトにまとまっていて便利です。

仙台には本格アウトレットモールもあります。国内外の有名メーカー・ブランド・セレクトショップから選りすぐりのハイクオリティ商品をアウトレット価格で提供しています。

秋保温泉・秋保大滝

仙台には海も山も温泉もあります。

イベント盛りだくさん

春は青葉まつり、夏は仙台七夕まつり、秋はジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOIまつり、冬はSENDAI光のページェント。四季折々のイベントがあり楽しめます。

レジャーが充実

スキー・スノーボード、登山、ゴルフ、温泉、サーフィン、海水浴、釣り、バーベキュー、芋煮会などレジャーが充実しています。車で気軽に行ける距離にキャンプ場やグランピング施設もあり、アウトドア好きの方には最高の環境です。



地域医療を支える専門医に！

当院が大学病院としてスタートを切ってから7年が過ぎました。本年4月には本学を卒業した二期生が医師として羽ばたき、一期生とともに地域医療に貢献しています。この7年間で病床数が466床から600床へと増床されるとともに、標榜診療科も21科から33科、最新式の医療機器も増設され、80名ほどであった医師数も240名を超えるようになりました。大学病院としての高度な医療提供を行う土台も確固たるものになっています。数名しかいなかった臨床研修医も本年度は27名、専攻医は38名に増えています。現在、当院は基幹施設として14科の専門研修プログラムを有しております。

本学医学部は東北地方の医療を支えるという使命を持って設置されたことから、卒業生が地域医療で戦力となることを主眼とした卒前教育が行われています。その実習の場でもある本院は高度な医療を提供するとともに、一般的な疾患を数多く診療していることが特徴です。当院での研修は幅広い症例が経験できるとともに、200名を超える指導医がいることから、地域医療を支える偏りのない臨床力を持った医師を育成することが可能です。若い医師が数多く在籍していますので、働きやすく学びやすい環境です。当院で一緒に働き、東北地方の医療を支えていきましょう。

佐藤 賢一 東北医科薬科大学病院 病院長



臨床力と総合力で全人的医療ができる専門医に！

東北医科薬科大学病院は、仙台駅から電車で約15分の距離に位置し、市中心部へのアクセス良好ながら、緑豊かな環境にあります。33の診療科および12の特殊外来、600床の病床を有し、仙台市をはじめ近隣自治体より広く患者さんを受け入れています。

当院の前身である東北厚生年金病院は、1982年よりこの場所で地域の医療を支えてきました。その後、2013年東北薬科大学の附属病院に、そして、2016年にわが国37年ぶりの医学部が新設され、東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切りました。医学部附属病院となったことで、診療科の新設や従来の診療科へのスタッフが増員され、現在は、200名を超える医師が在籍しています。2019年には新大学病院棟が完成し、より充実した環境下で研修を行うことができます。

当院は、これまで地域医療へ果たしてきた役割をさらに強化・充実させるとともに、地域医療に貢献できる優秀な医師を育成、さらには、高度医療や研究にも力を注ぎながら、大きく成長していくことを目指します。新しい病院を創り上げるエンジンとなり、それぞれの目標とする医師像の実現に向けて当院と共に成長していける専攻医の皆さんをお待ちしています。

酒井 啓治 東北医科薬科大学病院 卒後研修支援センター長



新大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含め手術室9室のほか、リニアックなど高機能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となりました。病床数も600床となり、名実ともに大学病院にふさわしい体制が整うことになります。

医療設備 最新鋭の医療機器で低侵襲治療を実現



ハイブリッド手術室



放射線治療装置(リニアック)



血管撮影装置(パイプライン型)



ガンマカメラ装置



CT装置



MRI装置



手術支援ロボット da Vinci

東北医科薬科大学病院

〒983-8512
宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号
TEL:022-259-1221(代表)

【病院長】 佐藤 賢一

【病床数】 一般病棟554床 精神病棟46床 計600床

【前身】 1946年 5月 宮城第一病院

1982年10月 新築移転、東北厚生年金病院へ改称

2013年 4月 東北薬科大学病院へ移行・名称変更

2016年 4月 東北医科薬科大学病院へ名称変更



診療科

【内科系診療科】

総合診療科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、糖尿病代謝内科、腎臓内分泌内科、脳神経内科、感染症内科、血液・リウマチ科

【外科系診療科】

呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、肝胆膵外科、乳腺・内分泌外科

【その他の診療科】

脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、がん治療支援(緩和)科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科

職員構成

2023年4月1日 現在

職 種	男性職員	女性職員	合計職員
医 師	153名	43名	196名
専攻医	17名	4名	21名
臨床研修医	22名	5名	27名
歯科医師	3名	1名	4名
薬剤師	26名	18名	44名
医療技術職	71名	113名	184名
看護職	43名	616名	659名
福祉職	5名	9名	14名
事務員	38名	62名	100名
技能職	7名	23名	30名
合 計	385名	894名	1,279名

職場環境

■専攻医室

2023年に
リニューアルしました。

専攻医専用の
部屋です。

専攻医室には
個々のデスクがあり、
電子カルテも
設置されています。



■宿舎

2019年に完成した2棟の宿舎。
1K・ウォークインクローゼット付、
トイレバス別で快適。
セキュリティも万全なので安心です。



■カフェテリア



■ぶくぶく保育園

夜間保育も行っており、子育てをしながら
安心して仕事を続けることができます。
※法人教職員利用可



■ローソン



専攻医
募集要項
抜粋

身 分	常勤嘱託職員
給 与 ・ 賞 与	専攻医1年目 基本給 410,000円程度／月 専攻医2年目 基本給 420,000円程度／月 専攻医3年目 基本給 425,000円程度／月 専攻医4年目 基本給 430,000円程度／月 専攻医5年目 基本給 440,000円程度／月 賞与 年2回(夏季6月、冬季12月) 給与規程に基づき支給
各 種 手 当	通勤・賃貸・超過勤務等
勤 務 時 間	1月単位の変形労働時間制(交替制) 主たる勤務時間 日勤8:30～17:15、夜勤16:00～翌日9:00 就業規則に基づき実施
休 日 ・ 休 暇	1月単位の変形労働時間制(交替制)による、週休2日制 年次有給休暇 法定に基づき付与、育児休業・介護休暇等 就業規則に基づき付与
年 金 ・ 保 険	私学共済、雇用保険、労災保険、介護保険(対象者)加入

関連学会等による研修指定・認定(2023年4月1日現在)

学会名および認定機関	施設認定名称
日本病院総合診療医学会	日本病院総合診療医学会認定施設
日本認知症学会	日本認知症学会専門医教育施設
日本老年医学会	日本老年医学会認定施設
日本皮膚科学会	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本精神神経学会	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
日本外科学会	日本外科学会外科専門医制度修練指定施設
日本整形外科学会	日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
日本眼科学会	日本眼科学会専門医研修施設
日本耳鼻咽喉科学会	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本泌尿器科学会	日本泌尿器科学会専門医拠点教育施設
日本麻酔科学会	日本麻酔科学会認定病院
日本病理学会	日本病理学会認定施設
日本救急医学会	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本リハビリテーション医学会	日本リハビリテーション医学会研修施設
日本消化器病学会	日本消化器病学会認定施設
日本循環器学会	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本不整脈心電学会	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本高血圧学会	日本高血圧学会高血圧認定研修施設
日本呼吸器学会	日本呼吸器学会認定施設
日本糖尿病学会	日本糖尿病学会認定教育施設I
日本腎臓学会	日本腎臓学会認定教育施設
日本肝臓学会	日本肝臓学会認定施設
日本脾臓学会	日本脾臓学会認定指導医制度指導施設
日本アレルギー学会	日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設(耳鼻科、呼吸器内科)
日本アレルギー学会	日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設(小児科、皮膚科)
日本感染症学会	日本感染症学会認定研修施設
日本神経学会	日本神経学会認定教育研修施設
日本消化器外科学会	日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
日本呼吸器外科学会	呼吸器外科専門医合同委員会専門医研修基幹施設
日本リウマチ学会	日本リウマチ学会教育施設
日本集中治療医学会	日本集中治療医学会専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会	日本消化器内視鏡学会指導施設
日本超音波医学会	日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設
日本核医学会	日本核医学会専門医教育病院
日本臨床腫瘍学会	日本臨床腫瘍学会認定研修施設(連携施設)
日本総合病院精神医学会	日本総合病院精神医学会特定研修施設
日本脳卒中学会	日本脳卒中学会研修教育施設
日本臨床細胞学会	日本臨床細胞学会認定施設
日本乳癌学会	日本乳癌学会認定施設
日本透視医学会	日本透視医学会施設
日本呼吸器内視鏡学会	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
日本胆道学会	日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本動脈硬化学会	日本動脈硬化学会認定専門医認定教育施設
日本がん治療認定医機構	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本心臓血管麻酔学会	日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定基幹施設
National Clinical Database	NCD(National Clinical Database)参加施設
日本医療薬学会	日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設
日本緩和医療学会	日本緩和医療学会認定研修施設
日本肝胆膵外科学会	日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設B
日本婦人科腫瘍学会	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設A

指定医療

地域医療支援病院	高次脳機能障害支援拠点病院
臨床研修病院	宮城DMAT指定病院
地域がん診療連携拠点病院	仙台市認知症疾患医療センター指定病院
救急告示病院	宮城県難病地域拠点病院
災害拠点病院	ISO 15189 認定検査室

専門資格(2023年8月1日現在)

認定資格名	認定機関	有資格者数
臨床研修指導プログラム責任者講習会受講者	厚生労働省	5名
臨床研修指導医養成講習会受講者	厚生労働省	157名
認定内科医	一般社団法人日本内科学会	77名
総合内科専門医	一般社団法人日本内科学会	54名
プライマリ・ケア認定医	一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会	5名
外科専門医	一般社団法人日本外科学会	26名
小児科専門医	公益社団法人日本小児科学会	6名
精神科専門医	公益社団法人日本精神神経学会	5名
麻酔科専門医	一般社団法人日本専門医機構	4名
臨床検査専門医	一般社団法人日本専門医機構	1名
臨床検査管理医	一般社団法人臨床検査医学会	2名
形成外科専門医	一般社団法人日本形成外科学会	2名
整形外科専門医	公益社団法人日本整形外科学会	8名
泌尿器科専門医	一般社団法人日本泌尿器科学会	3名
耳鼻咽喉科専門医	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会	6名
認定皮膚科専門医	公益社団法人日本皮膚科学会	3名
呼吸器専門医	一般社団法人日本呼吸器学会	7名
循環器専門医	一般社団法人日本循環器学会	12名
消化器病専門医	一般社団法人日本消化器病学会	17名
消化器内視鏡専門医	一般社団法人日本消化器内視鏡学会	11名
糖尿病専門医	公益社団法人日本糖尿病学会	4名
がん薬物療法専門医	公益社団法人日本臨床腫瘍学会	5名
腎臓専門医	一般社団法人日本腎臓学会	11名
透析専門医	一般社団法人日本腎臓学会	8名
神経内科専門医	一般社団法人日本神経学会	7名
感染症専門医	一般社団法人日本感染症学会	5名
ICD(infection Control Doctor)	ICD制度協議会	9名
呼吸器外科専門医	呼吸器外科専門医合同委員会	8名
消化器外科専門医	一般社団法人日本消化器外科学会	13名
心臓血管外科専門医	3学会構成心臓血管外科専門医認定機構	4名
脳神経外科専門医	一般社団法人日本脳神経外科学会	4名
血液専門医	一般社団法人日本血液学会	5名
リウマチ専門医	一般社団法人日本リウマチ学会	5名
産婦人科専門医	公益社団法人日本産科婦人科学会	6名
眼科専門医	財団法人日本眼科学会	4名
救急科専門医	一般社団法人日本救急医学会	7名
放射線診断専門医	公益社団法人日本放射線学会	6名
放射線治療専門医	公益社団法人日本放射線学会	1名
病理専門医	一般社団法人日本病理学会	3名
認定産業医	日本医師会	20名